

# 自主・友愛・剛健

## 不安定な社会でも夢のある年度に…。

相変わらず新型コロナウイルス感染症は新規感染者が高止まりし、終息を迎える様子もない。更にウクライナ問題、そして国内では、各地で地震が起こるなど、不安な社会情勢が続いています。そのような中、学校では、4月7日に新2・3年生が始業式を、そして8日に新1年生48名を迎え、全校生徒167名で令和4年度がスタートしました。4月もあっという間に終えようとしています。昨年度までとは違う、うれしい光景を目にすることがあったので、紹介しておきたいと思います。

まずは、「人の話を聴いている時や話しかけられた時に、首が縦に動いている人が多くなったこと」です。要するに“うなずき”や“あいづち”をする人が増えています。ここ数年マスクをつけることで表情がわかりにくく、しゃべっても声が聞こえにくいことが多かったため、この動作により聞いてくれていることがはっきりと分かります。話す方にとってみればとても助かります。SELの中で学んだ“積極的な聴き方”が生きているのかもしれない。また、新年度と言えば各クラスで目標を決めたり、個人の一年間にかかる想いを綴ることがあります。“3年生になって頑張りたいこと”を少し読ませてもらいました。その中で次のようなキーワードが目につきました。



### 常に周りをよく見て…、社会に出ても…、自分の意見を相手に…、友だちと一緒に達成できたら…

自分が頑張るために“周り”を意識していること…。より広い範囲を見つめながら進路を決定していく3年生に期待が高まりました。社会情勢も含め、どのような環境でも前向きに物事を進める皆さんであってほしいと思います。

4月18日に行われたPTA評議員会でも、令和4年度「PTAスローガン」を平成29年度以来、実に5年ぶりに変更する予定です。直前の三役会で出た意見をまとめ、評議員会で総会へ提案することが決まりました。元気の出るスローガンになっていますので、保護者の皆さまにも、新たな気持ちでPTA活動に関わっていただけたらと思います。

**4月30日(土)参観日・PTA総会・学年連絡会・部活動保護者会にぜひご参加ください。**

【5月の主な行事】※詳細につきましては、“中央中学校ホームページ”をご確認ください

2日：振替休業日（4／30分）

10日：耳鼻科検診      11日：2年生内科検診      12日：1年生心音・心電図

13日：苫田・久米郡総合体育大会      16日：教育相談（～20日）

17・18日：検尿      18日：町教育研究会（午後：家庭学習）      19日：専門委員会

20日：職員会議      23・24日：中間テスト      25日：避難訓練・校内研修

26日：学校運営協議会      30日：教育実習（～6／10）

# 少し寂しい別れ。そして、新しい出会い…

3月から4月は、教職員の異動の季節です。本年度の人事異動でも6名の方をお送りいたしました。本校のためにご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。新しい職場での活躍をお祈りいたします。また、5名の者が新しく着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

※ネット上では未掲載

## 今年もやります！自己肯定感向上の取組！

昨年度、本格的に始めた『自己肯定感向上』の取組を、本年度も継続して行います。SEL（社会性と情動の学習）やピアサポート（仲間同士の支え合い）などの取組を昨年度以上に進めます。今年のテーマは、“SELの学習を学校生活の様々な場面で活用していくこと”です。授業や学校行事はもちろんのこと、生徒があらゆる場面で前向きに周りの人に関わっていく…、そんな場面が増えることを望んでいます。生徒会も執行部を中心に、いろいろと計画をしてくれています。今から生徒たちの生き生きした姿を想像するとワクワクしてきます。



4/8：2年生SEL授業より

### つぶやき…

※今年も、気になったことや思いついたことを書いています。読んでみてください…。

ここ数日で気になったニュースが二つあった。一つは、プロ野球ロッテの佐々木選手に対する審判員の対応の件である。佐々木選手の投球がボールと判定され、直後の行動に対して白井球審が厳しい表情で寄りながら言葉をかける場面があったというもの…。審判や選手・監督が感情的になってしまうことは自身の経験からも理解できる。ネット上でも賛否両論あり、その場にいなかった私はどちらの行動に対しても意見を言うつもりはないが、両者ともに違った行動ができたのではないかとも思う。もう一つは、知床観光船事故の件である。昨日、運行会社社長の記者会見が行われていたが、一番の問題は“出港できる天候だったのか”ということに限る。結果としてももちろん判断が間違っていたことは事実であるし、多くの命が失われ、未だに行方不明になっていることには心を痛める。もっとできたことがあったのでは…、あの時にもっと考えていれば…と多くの人が考えていることだと思う。自身の経験を振り返っても、細かなことが気になりながらも、その場の感情や雰囲気や決断してしまう場面は否定できない。この二件のニュースを見ながら、改めて責任の重さを痛感した…。